

その会社は特定業界の卸売事業者さんで、2代目社長を筆頭に、ベテラン社員から新卒に近い若者まで、数十人程度従業員を抱えています。幸い、経営努力もあって業績は堅調、採用については苦勞していますが厳しい残業もなく、いわゆる「ホワイト企業」と言っても良い会社です。その会社で、購買担当の社員からこんな申し出がありました。

「扶養している親族が深刻な難病の診断を受け、手術や治療、療養のためには自分がサポートするしかない」

「そのため、短時間の勤務やシフトワークが可能な体制に変更して欲しい」

「また、治療のため資金が必要なので副業を認める制度が欲しい」

皆さん、社員からこんな申し出が急にあったらどうしますか？

まあ正直、私は(あまり大きな声では言えませんが)虫のいい話だなあと思ったのは確かです。

しかし、社長は人事も担当する総務担当に「制度の検討」を指示したのです。

さあそこらが大変です。

顧問の社労士さんに何度も質問し、また社員間で何度もディスカッションを重ね、本人からももちろん意見を聞いてこういった制度に合う規定を一生懸命作りました。一番難航したのが、「何もそういう事情のない社員との不公平」への配慮でした。時間勤務やシフトワークをしているのに、給与や休面で割と良い内容であれば通常の社員から不満が出るかもしれません。

また、副業にしても(最近は認める会社が多いようですが)、原則禁止なのでどのケースが良くてどのケースがダメなのかははっきりしておかないと、野放図に、特に本業に影響を与えるような副業を希望する者が続出しても困ります。

このように一生懸命努力して、何度も議論を重ね、ようやく「これで行ける！」という制度の完成が見えてきたころ、当の社員から驚きの申告がありました。

「どうもその難病が誤診で、通常の治療や健康保険でのカバーが可能なので、特別な制度は要らないことになりました」

これには一番苦勞した総務担当者やサポートした社員たちは「がっかり」です。

今まで私たちはどれだけの苦勞してきたのかを思い返すと、それが水の泡になってしまったわけですから気持ちはわかります。総務担当は、怒りや落胆を押さえつつ、社長にその旨を報告しました。他の業務にも影響を与えるほどの延べ時間をかけ、一生懸命作りましたが無駄になりました。

これだけ私たちが頑張ってきたのに、「要らない」だけで「すみません」の一言もないのです、と。

ここで社長は何と返したでしょうか。「〇〇君、ご親族の病気が深刻じゃなくてほんとに良かったじゃないか」

働き方改革を「残業抑制」ととらえる風潮はまだ多いのですが、私は働き方改革の本質はここにあると思っています。

ともすれば人間性を失いかねない働き方を従業員に課し、働く側もそれを良しとしてがむしゃらに頑張ってきた時代から、様々な道具、特にITを利用して「人間らしい気持ち」と生産性を両立する働き方を実現できる時代に、だいぶ前からなっている気がします。

こういう方向性は、本当に若い社員だけで構成されている組織ならともかく、今回のように年代がまだ混んでいる場合には社員からは醸し出しにくいものです。従業員に任せ切りにするのではなく、皆さんのようなトップがこういった方向性を示してやり、ITといった道具も渡してやることで、従業員が新しい働き方に、物理的にも心理的にも舵を切りやすくなると思います。とりとめのない話ですが、ちょっと面白いなと思いましたので本日の会長の時間のお話と致しました。ありがとうございました。

3. ニコニコ報告 山川 良知 親睦委員長

山川 会員・・・8月24日(土)家族懇親会が無事終了しました。和気あいあいと楽しく過ごせました。

ご参加頂いたメンバー及びご家族の皆さんありがとうございました。

塩尻 会員・・・山川様、皆様ありがとうございました。

清水 会員・・・山川さん大変お世話になりました。

片岡 会員・・・山川さん、土曜日は大変お世話になりありがとうございました。

小島 会員・・・初期の膀胱がんで入院中に心筋梗塞が見つかり、続けて手術したので入院が長引きました。

自宅療養中ですが、久しぶりに例会出席させていただきます。

澤田 会員・・・8月24日(土)地区職業奉仕委員長会議が開催され、当クラブの林委員長に参加していただきました。

有難うございました。

原山、栗原、俣野、沖、北野、新川、岡本(真)、岡野、小山、中村、岩崎、井澤、宮原、松谷、甚田、大磯、吉本、

各会員・・・多くの会員およびご家族のご参加により楽しい家族懇親会でした

4. 委員会報告

◎ 地区職業奉仕委員会 澤田 宗久 副委員長

2019-20年度クラブ職業奉仕委員長会議が8月24日(土)に大阪科学技術センターで開催されました。

当クラブから林拓職業奉仕委員長が出席して頂きました。

会議の内容は、

○ガバナー四宮孝郎さんの開会挨拶の後

・今年度の活動方針と本日の内容について

地区職業奉仕委員会委員長 山崎 修一

・職業奉仕活動の事例紹介

地区職業奉仕委員会委員(大阪RC)

地区職業奉仕委員会委員(大阪西RC)

○職業奉仕活動に関するグループ討論(12グループ)

☆自分のクラブの活動紹介および質疑応答

☆「職業奉仕活動と言えるためには一」の視点で討論を行う。

○講評 直前ガバナー 山本 博史

今回の各グループの講論の内容は簡潔にまとめて10月にはフィードバックする予定です。

職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるよう努力を重ねるということです。それによって自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来ます。また、それによって日々の奉仕活動が行いやすくなり、効果も向上いたします。

5. 出席報告 岡野 秀章 副SAA

会員総数 34名 出席率計算会員数 33名 出席会員数 25名 出席率 76%

第1373回(8月5日) 修正出席率 91%

6. バズセッション 「会員増強について」 会員増強委員会 清水 清一 委員長



テーブルごとに会員増強についてバズセッションしていただきました。

☆☆☆ 夏の家族懇親会 ☆☆☆
神戸港コンチェルトクルージング&夕食会
2019年8月24日(土)

去る8月24日(土)、神戸港発着の客船「コンチェルト」によるクルージングとディナーをお楽しみいただく夏の家族懇親会を開催いたしました。総勢22名、うち小学生3名のお子様にご参加いただき、和気あいあいと楽しく過ごせたのではないかと思います。ご出席いただいた会員およびご家族、関係者の皆様、本当にありがとうございました。最も心配していたのが、台風や暴風雨による中止でした。すっきり晴天というわけにはいかず、あいにくの曇り空であり、夕焼けが見られず、また明石海峡大橋も霞んでいたのは残念でしたが、昨年、プライベートの旅行や出張のたびに台風や暴風雨に見舞われ続けた私にとりましては、船の企画をすること自体が大変な冒険であり、幸いにも台風等が来ることもなく無事挙行でき、ほっと一安心したというのが本音です。

当日は、集合時間は16時30分でしたが、16時頃から続々と来ていただき、10分前には皆さんお集りいただきました。しばらく待合室で過ごしたあと、17時にいよいよ乗船です。待合室を出て、全員で船首とポートタワーを背景にして、集合写真を撮影してから乗船しました。乗船後は、「パールの間」に通されました。出入口側以外はすべてぐるりと窓に囲まれている大変見晴らしの良い部屋です。この壁にそってテーブル席が配置されており、皆さん、それぞれ気に入ったテーブルに着席されました。

そして、懇親会開始です。まずは塩尻会長にご挨拶をいただき、小山会員の乾杯のご発声により懇親会が始まりました。皆さん、喉が渇いていたことから、お二人とも気を利かせて手短かに済ませて下さりましたが、少し早すぎたのか、バイキング料理の用意が間に合っておらず、少しの間、飲み物だけで歓談しました。出航とともに料理が用意され、皆さん、好きな料理をお皿に盛られていました。飲み物は飲み放題であり、こちらの方も、皆さん、次々にグラスを空けておられました。途中、17時45分頃からはピアノの生演奏があり、クラシック(何て曲か忘れまして・・・)、「ホール・ニュー・ワールド」(映画「アラジン」挿入歌)、「ムーン・リバー」(「ティファニーで朝食を」挿入歌)などをBGMにしながら、歓談もはずみました。

18時過ぎには、船の折り返し地点となりもっとも明石海峡大橋に近づくことから、多くの方がデッキに出られました。あいにく曇天で景色はあまり良くなかったですが、結構風が吹いており、酔いが治まった方も多かったのではないのでしょうか。

再度、部屋に戻ってからは、皆さん、自由に席を移動して、各テーブルで話しに花を咲かせておられました。

良く食べ、良く飲み、良くしゃべり、あっという間に下船予定時間の19時となりました。

最後は、甚田監事に締めのご挨拶をしていただき、夏の家族懇親会はお開きとなりました。

皆様のご協力により無事に終えられたこと、感謝申し上げます。

親睦委員長 山川 良知



国際ロータリー
第2660地区 ガバナー プロフィール

四宮 孝郎 (しのみや たかお)



生年月日 1954年12月9日生

職業分類 不動産業

職 業 辰巳興業株式会社 代表取締役社長

所在地 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-3-13

経 歴 1977年 神戸大学法学部 卒業
長瀬産業株式会社 入社
1982年 辰巳興業株式会社 入社
1991年 辰巳興業株式会社 代表取締役社長就任 現在に至る

ロータリー歴 大阪西南RC入会 1993年4月7日
1998-99年度 幹事
1999-00年度 会計
2006-07年度 友好担当理事
2011-12年度 会長
2012-13年度 直前会長
2016-17年度 財団担当理事

第2660地区 2005-06年度 地区幹事
2009-10年度 地区代表幹事
2012-13年度 ロータリー財団FVP副委員長
2013-14年度 ロータリー財団地区補助金・グローバル補助金担当グループリーダー
2014-15年度 ロータリー財団補助金小委員会 委員長
2015-16年度 ロータリー財団資金推進小委員会 委員長
2016-17年度 ロータリー財団ポリオプラス小委員会 委員長

そ の 他 ポール・ハリス・ソサエティ
ベネファクター
メジャードナー
米山功労者(メジャードナー)

賞 罰 なし

…ガバナー月信7月号より…

☆次回9月9日(月)例会予定

・卓話 山川会員